

# 令和 3年度予算見積調書

課室名：文化資源課

担当名：博物館・美術館、指定文化財担当

内線：6981

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B76	文化遺産調査活用事業			一般会計	教育費	社会教育費	文化財保護費	文化財調査費	
事業期間	平成28年度～	根拠法令	文化財保護法、埼玉県文化財保護条例			宣言項目		SDGsゴール	4
					分野施策	061348 郷土の魅力の創造発信		SDGsターゲット	4-7
1 事業の概要				5 事業説明					
<p>埼玉の潜在的な歴史文化遺産を掘り起す学術調査を実施し、その成果を広く公開することによって、県民に埼玉の魅力を再発見してもらう。市町村に対して、文化財の保存活用に関する総合的な地域計画を策定する支援を行う。新しい視点での博学連携プログラムを開発する。</p> <p>(1) 無形民俗文化財調査研究費 2,018千円                      (2) 自然遺産調査研究費 1,099千円                      (3) 歴史遺産調査研究費 273千円                      (4) 地域の文化財保存活用の地域計画策定支援事業 288千円                      (5) 博物館・美術館等を活用した子供パワーアップ事業 150千円</p>				<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 無形民俗文化財調査研究費 県内の無形民俗文化財を掘り起す調査を実施する 2,018千円                      イ 自然遺産調査研究費 県内の自然系の文化財を掘り起す調査を実施する 1,099千円                      ウ 歴史遺産調査研究費 県内の歴史系の文化財を掘り起す調査を実施する 273千円                      エ 地域の文化財保存活用の地域計画策定支援事業 市町村による文化財保存活用地域計画の策定を支援する 288千円                      オ 博物館・美術館等を活用した子供パワーアップ事業 新しい視点での博学連携プログラムの開発 150千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 無形民俗文化財のうち「巡り・廻りの民俗行事」についての調査を行い、保存活用のデータとする。                      イ 自然系文化遺産のうち「入間川流域の自然」をテーマに調査を行い、保存活用のデータとする。                      ウ 歴史系文化遺産のうち「新編武蔵風土記稿」に係る文化財の調査を行い、保存活用のデータとする。                      エ 先行事例の調査を行い、市町村職員を対象とした研修会を開催する。                      オ 博物館と利用者をつなげるコーディネーター（リエゾン）を育成するとともに、博学連携プログラムの普及を図る。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>新たな文化遺産を掘り起こし、埼玉の歴史文化の魅力を広く発信することで、県民が文化財と触れ合う機会を増やし、県民としてのアイデンティティを醸成することができる。                      市町村による文化財保存活用地域計画の策定を支援することで、地域社会総がかりの文化財の保存活用を推進し、ひいては、観光振興や地域振興につながることを期待できる。                      また、新たな博学連携プログラムを実施することで子供たちの学習意欲や創造力の向上が図られる。</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況									
<p>普通交付税（その他教育費）                      (区分) その他教育費 (細目) 社会教育費 (細節)                      ) 社会教育・文化財保護費 (積算内容) 文化財保護関係補助金等文化財の維持管理経費、旅費、備品購入費</p>									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員									
9,500千円×0.9人=8,550千円									
予算額				財源内訳				一般財源	前年との対比
決定額	3,678						3,678	△806	
前年額	4,484						4,484		